

## 先天性心疾患分野のMSWの 多職種連携の能力と関連する要因に関する研究

○氏名 城戸 貴史（静岡県立こども病院地域医療連携室・008893）

キーワード：MSW 多職種連携 医療介護福祉の地域連携尺度

### 1. 研究目的

循環器病対策推進基本計画（2020）のなかで、小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策として、「小児から成人までの生涯を通じて切れ目のない医療」と「医療、保健、教育、福祉等の関係施策を総合的に推進する」ことが盛り込まれた。これらは、先天性心疾患患者のライフステージで関わる多領域多機関専門職との多職種連携の推進であると考えられるが、医療ソーシャルワーカー（Medical Social Worker：以下、MSW）の多職種連携のコーディネーターとしての役割が明示されなかった。これは、この分野のMSWの多職種連携の力量が明らかになっていないことが要因の一つと考えた。

そこで、本研究では、先天性心疾患分野に従事するMSWの多職種連携の力量の現状と、先天性心疾患分野に従事するMSWの多職種連携の力量に関連する要因にはどのようなものがあるのかを明らかにすることを目的とした。

### 2. 研究の視点および方法

研究対象者は、日本小児総合医療施設協議会会員施設および日本成人先天性心疾患学会認定修練施設に所属する医療機関の産科、NICU、小児科を担当するMSWで、先天性心疾患患者とその家族を支援しているMSW257名である。

調査方法は、無記名自記式調査用紙による郵送法で行った。調査項目は、研究対象者の属性、阿部らが地域連携の良さを測るために開発した「医療介護福祉の地域連携尺度」（阿部ら 2014）の質問項目、各下位尺度に関する工夫や課題、およびMSWとして地域の多職種連携構築の工夫に関する自由記載で構成した。質問調査用紙の配布方法は、郵送で病院長に対して文書で説明し、病院長を通じて該当のMSWへの配布を依頼した。質問調査用紙は、個別に配布できるように準備した。研究期間は、2020年3月1日から2020年5月31日である。統計解析には、IBM SPSS Statistics Ver22.0を用い、p値が0.05未満を統計的に有意とみなした。

### 3. 倫理的配慮

本研究は、筆者が研究時に所属していた聖隷クリストファー大学倫理委員会の承認を得て実施した（承認番号 19085）。具体的には、調査への回答は任意であること、結果の公表に際して研究対象者が特定できないように扱うこと、調査後のデータの管理等を説明し、調査への回答をもってこれに同意したものとした。

### 4. 研究結果

MSW257名のうち128名から回答があった(回収率49.8%)。尺度全体の平均値は、3.41±0.66であった。各下位尺度の平均値は、【他の施設の関係者とやりとりできる】3.76±0.66、【地域の他の職種の役割がわかる】3.55±0.73、【地域の関係者の名前と顔・考え方がわかる】3.00±0.75、【地域の多職種で会ったり話し合う機会がある】3.28±0.94、【地域の相談できるネットワークがある】3.38±0.90、【地域のリソースが具体的にわかる】3.46±0.89であった。

尺度全体の平均値と有意差があった属性は、MSWとしての経験年数( $p < 0.001$ )、介護支援専門員の資格の有無( $p < 0.05$ )、多職種が参加する学会への参加の有無( $p < 0.05$ )、先天性心疾患患者に加えて成人している先天性心疾患患者への支援の有無( $p < 0.05$ )であった。また、経験年数5年以下のMSWの尺度全体の平均値と有意差があった属性は、日本MSW協会の入会の有無( $p < 0.05$ )、日本保健医療社会福祉学会の加入の有無( $p < 0.01$ )であった。

## 5. 考察

各下位尺度の平均値で4を超える下位尺度がなかったため、先天性心疾患分野に従事するMSWは、多職種連携について高い力量を有しているとは言えない。

力量を高める要因としては、学際的チームや多機関専門職が所属する学会に参加し、多機関専門職と積極的に交流することが必要であると考えられる。

ただし、経験年数5年以下のMSWが、学際的チームや多機関専門職が所属する学会で、積極的に発表を行うことや、他の多機関専門職と対等な立場で交流することは難しいと考える。経験年数5年以下のMSWの場合は、同じMSWの所属する日本MSW協会や日本保健医療福祉学会に所属することで、先輩のMSWの指導を受けながらの学会発表を行うことや、MSW分野の研究者との交流を深めることで、まずは、多機関専門職や多職種連携のコーディネート技術を学ぶことが必要であると考えられる。

## 6. COIの有無について

本発表に関連して、開示すべきCOIはない。

## 7. 文献

厚生労働省, 2020, 「循環器病対策推進基本計画」

阿部 泰之・森田 達也 (2014) 「「医療介護福祉の地域連携尺度」の開発」『Palliative Care Research』 9(1), 114-20.